

ユガテの森から

NO10

発行 NPO法人 西川木楽会 埼玉県飯能市大字飯能291番地 平成29年4月1日



森林・山村多面的機能発揮対策事業に取り組みました

西川木楽会では、平成26年度から3年間にわたり、木楽会のフィールドの「ユガテの森」を中心とした森林整備を実施し、2月末日をもって事業を終了しました。

事業は、対象とする森林の状況に応じて、①荒れている里山林や竹林の手入れをする地域環境保全タイプ、②薪など地域の資源を活用して山村を活性化する森林資源利用タイプ、③子ども達に森林の中で自然を体験する教育・研修活動タイプの3つのタイプの活動メニューで行いました。

地域環境保全タイプでは、過密なモウソウ竹林を整備し、タケノコの収穫を目指したり、ユガテ広場の西面のスギ・ヒノキ林を伐採し、萩の里に生まれ変わる作業を行いました。

森林資源利用タイプでは、広葉樹林を整備し、薪づくりやキノコ栽培の原木として利用しました。最近では、竹炭づくりに取り組んでいるのも事業の一環です。

また、教育・研修活動タイプでは、飯能市のエコツアーに組み込み、年間5から6回、椅子づくりなどの木工体験、薪割体験、ミニ門松づくりなど、多彩な体験を行いました。

竹のはなし 佐藤 博

西川木楽会は竹林の整備と、そこから切り出される竹を使っての竹炭づくりを行っているので、竹にまつわる話をしたいと思います。以前、植物園で緑の相談員をしていた時に、竹について様々な質問を受けた。①竹はなぜ繁殖力が旺盛なのか。②竹と笹の違いは。③隣の屋敷へ侵入するのを防ぐにはどうすればよいか。④竹の中は空洞になっているが、中はどんな気体が入っているのか。⑤竹の移植時期と移植方法。⑥竹は花が咲くのか。⑦竹を根絶したいが、根をすべて掘り上げるのは大変なので他によい方法はないか、等々です。

タケの仲間は大きく分けるとタケ、ササ、バンブーの3つのグループになります。タケとササは地下茎を伸ばして殖えていくのに対し、バンブーは地下茎を形成せず、分蘖(フンゲツ)により殖えていきます。タケとササの違いについて、一般的に、稈鞘(筍の皮)が筍の生長に応じて脱落していくのがタケ、脱落しないのがササと言われていますが、これは正確ではなく、分類学的には下の写真にあるような小穂に、二枚の苞穎(ホウエイ)が付いているのがササで、無いのがタケである。ところが困ったことに、タケやササはめったに花が咲かない。そこで、苞穎(ホウエイ)を持たないタケは筍が成長するにしたがい離脱する一方で、ササは皮が残る特徴(傾向)があったので、これがタケとササを区別するのに利用されたのである。困みに、庭の植栽としてよく利用される丈の低いオカメザサは、ササとはなっているが、苞穎がないのでタケということになる。

ところでタケもササも花を見ることはほとんどない。特にタケはめったに花が咲かない。過去の事例から、モウソウチクで67年、マダケ、ハチクで120年周期であろうとされている。

モウソウチクに関して、春に地上に芽を出した筍は2ヶ月ほどで成長は完全にストップし、それ以降は稈が太くなることも高くなることもない。すなわち、地上部は光合成により、エネルギーを作り出すだけで全く消費しないので、その分、地下茎が発達する。繁殖力が旺盛な理由がそこにある。年間サイクルで見ると、5~6月に筍の成長が仕上がると、今度は地下茎が伸び出し、これは11月にストップする。その後は筍の芽が形成され、それが成長して地上に出てくるというサイクルをとる。タケがエネルギーを最も多く消費するのは、地上に芽を出した筍が伸びきるまでで、その時点で貯蔵エネルギーは最小となる。それを見計らって古い竹を含めてすべての地上部を切り取り、その後出てくる細い稈も丹念に取り除くと、エネルギーは底を尽き、完全に枯れてしまう。

③の質問に関して、波トタンを縦方向に深さ50cm以上埋め込むやり方がよいとされている。④の質問については、ふつうの空気成分は窒素78%、酸素21%、二酸化炭素0.03%であるが、竹博士として有名な故上田弘一郎博士の分析結果によると、窒素78~79%、酸素13~19%、二酸化炭素は1.6~6.0%という報告がある。



3ヶ月の記録



1月8日 安全祈願祭



1月8日 自由討論会



山村事業



間伐体験 (秩父こどもエコクラブ)



椎茸の植菌作業 (秩父こどもエコクラブ)



ドラム缶窯の入れ替え作業(エコツアー)



竹炭の出来は如何？

西川木楽会 3 カ月予定表 (2017年4月から6月)

月 日	時 間 帯	行 事 内 容	場 所
4月1日 (土)	9:00から15:00	炭焼き	ユガテ
4月8日 (土)	10:00から15:00	エコツアー：里山保全について学ぶ	中央公民館
4月9日 (日)	10:00から15:00	ユガテの春を楽しむ	ユガテ
4月15日 (土)	10:30から20:30	ユガテの自然散策会	ユガテ
4月15日 (土)	19:00から21:00	真壁と暮らし部会例会	創夢舎
4月18日 (火)	18:30から21:00	理事会	富士見公民館
4月22日 (土)	10:00から15:00	エコツアー：ユガテの春を楽しむ	ユガテ
4月22日 (土)	10:00から15:00	定例活動日	ユガテ
4月29日 (土)	9:00から15:00	ドラム缶入れ替え作業	ユガテ
5月6日 (土)	9:00から15:00	炭焼き	ユガテ
5月16日 (火)	18:30から21:00	理事会	富士見公民館
5月20日 (土)	19:00から21:00	真壁と暮らし部会例会	創夢舎
5月27日 (土)	10:00から15:00	定例活動日	ユガテ
6月17日 (土)	19:00から21:00	真壁と暮らし部会例会	創夢舎
6月18日 (日)	13:30から15:00	講演会	西武ガス3階
6月18日 (日)	9:00から15:00	通常総会	西部ガス3階
6月27日 (日)	10:00から15:00	定例活動日	ユガテ

- 備考 1. 定例活動日
 ユガテ：第4土曜日 任意の製材木工作业：毎週火曜日
 真壁と暮らし部会：第3土曜日 理事会は原則偶数月第3火曜日
2. 時間に拘ることなくご都合の良い時間にご参加いただいても結構です

ユガテの森自然散策会のご案内 (参加者募集中)

4月中旬のユガテは鬱蒼と芽吹き、ヤマザクラ、シダレザクラ、エドヒガンザクラなどが開花し、さながら桃源郷のよう場所です。うららかな春の一日、植物の説明を聞きながらユガテの春を散策してみませんか。

記

- 日時・場所 4月15日(土) 10:30～15:00 富山市大学発「ユガテの森」
- タイム 10:30～12:00 開会説明、自然散策
12:00～13:20 昼食
13:20～15:00 自然散策
15:00 ユガテ解散
- 集合場所、集合時間 富山野原 0:15 又は 時間 ユガテの本舎会活動拠点 10:30
- 参加対象者 自然と植物に興味のある方、ユガテの場所・植物に興味のある方。
- 植物についてより詳しく知りたい方、- 富山木楽会のご活動を知りたい方、
- 本舎会会員の中でも、これまで会の活動に参加できなかった方、等。
- 募集人員 概ね30人程度 (申込み限り)
- 参加費 一般参加者 200円 (保険料として) 本舎会会員 無料
- 説明者 佐藤 輝 (元植物園、緑の相談員)
- 主 催 NPO法人 西川木楽会
- その他 ①履衣は各自持参して下さい (虫じ、お茶、山草みそ汁は提供します)
②雨天決行
③参加予約は下記まで
- 申込方法 メール 0001070@npo.or.jp
電話 080-3584-1258
募集期間 4月10日まで

気候風土適応住宅の認定のガイドライン概要と認定イメージ

○建築物基本法に基づき、国土交通省が気候風土適応住宅の認定を行った場合、外産基準の適用を除外できる。国土交通省は気候風土適応住宅の認定のガイドラインを平成29年(2017)11月1日付で定める。国土交通省は気候風土適応住宅の認定のガイドラインを平成29年(2017)11月1日付で定める。国土交通省は気候風土適応住宅の認定のガイドラインを平成29年(2017)11月1日付で定める。

【地域の気候風土に応じた住まいの要素の例】

軸点	【認定イメージ】
構造・設備・空間構成	認定申請・審査
構造・設備	認定
材料・仕立て	認定
景観形成	認定
住まい方	認定

【認定イメージ】

外産基準の適用を除外できる気候風土適応住宅とは、地域の気候風土に合わせた構造・設備・空間構成、材料・仕立て、景観形成、住まい方など、地域の気候風土に合わせた住まいを実現することにより、外産基準に適合させることが困難であると考えられる建築物を含む。

【認定イメージ】

土壁蔵の例(左:外壁、右:内装) 茅葺き屋根の例

サステナブル建築物等先導事業(気候風土適応型)

気候風土に合わせた不適住宅の建築技術等に関するリーディングプロジェクトを広く民間等から提案を募り、支援を行うことにより、総合的な観点からサステナブルな社会の形成を図る。

気候風土適応分野(地域の気候風土に応じた環境負荷の低い住宅)の概要

- 補助対象住宅のイメージ
- 内観のイメージ
- 土壁で外断熱とした施工のイメージ

編集後記

ユガテの春は、タラノメ、山ウド、ワラビにゼンマイなど、山菜が豊富です。毎年、この春の恵みを味わいながら春を満喫しています。末永く、山菜を収穫するためには、乱獲を避けるとともに、タラノキの剪定作業も行ったら如何でしょうか(宮)